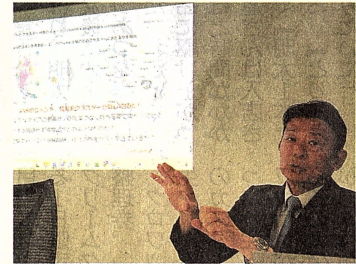


AIで社会貢献 どうやって？

そこで同社は脾臓がんの新たな標的を探るべく、KIBITに約3500万本の論文を読み込ませた。KIBITは2日間



AIによるSNS情報の分析について説明するFRONTEOの守本正宏社長＝7月、東京都港区の同社

「扇子は偶然でしたが、それを必然に近づけたい。意図的にレンディビティ（偶然の幸運）を起こしたい。その道の専門家が積み重ねてきた知見をKIBITが学び、解決への仮説のヒントを示します」

人間が難題に挑んだ論文やトランプルの報告書はおびただしい。KIBITが読み込み、言葉や文章のつながりを検証し、解決策との因果関係を探る。同社がいま力を入れるのが、予後が極めて悪いとされる脾臓がんなどの疾患の創薬支援だ。薬を作るには、約2万個のヒトの遺伝子のうち、これに働きかければこの病気に効くという「標的」を見つけねばならない。このプロセスは研究者の努力とセンスに委ねられてきた。新たな発見に数年かかることもあるという。

「扇子は偶然でしたが、それを必然に近づけたい。意図的にレンディビティ（偶然の幸運）を起こしたい。その道の専門家が積み重ねてきた知見をKIBITが学び、解決への仮説のヒントを示します」

30代後半で起業。米国で提訴された日本企業が反論する資料集めを助けようと、膨大な情報から意味のつながりを見いだすAIの開発を進めた。医療分野では、過去の診察や看護の記録をKIBITに読み込ませ、今の患者の状態が悪化する予兆をつかむことに生かしてきた。

「発明王エジソンの前に扇子を置いてあげるようなものです」。言語分析に優れた同社開発のAI「KIBIT」の役割をそう語る。人間の心の「機微と情報の単位「ビット」を組み合わせたネーミングだ。エジソンは白熱電球の発明で、電流を通すと光るフィラメントの素材探しに苦労した。研究室の机にあった扇子の竹を使うようになった。

肺がんが失った父の治療に悩んだ守本さんにとって、AIでのがん治療支援は大きな目標だ。「新たな標的はもう見つからない」と言われていたほど、脾臓がんは難しい疾患でした。だから挑戦しました。本心に薬になるまで早くても10～15年かかるでしょうが、大学や製薬会社と協力して進めたい」

「自らのコンテンツを作る生成AI（人工知能）が何かと話題だが、むしろ自社開発のAIで人間の判断を支えて社会に貢献を。そんなこだわりから、「FRONTEO」（本社・東京）社長の守本正広さん（59）はがんの創薬支援に乗り出した。最近の成果と、政治分野への活用の可能性を聞いた。



守本正広さん
FRONTEO社長

もりもと・まさひろ 海上自衛官から転身し2003年に起業。専門家が取り組んだ膨大な記録を分析して問題の因果関係を見いだすAIを開発し、企業管理や生命科学、経済安全保障などを支援してきた。

膨大な論文からがん創薬支援 人間の判断助けたい

そんな守本さんは、政治へのAI活用をどう考えるだろう。日本でもSNSの声をAIで広くつかんで政策作りや国会での質問に生かす動きが起きている。過去の自身の発言をAIに学ばせてネット上に分身を作り、有権者の質問に答えさせる国会議員も現れた。

「SNS上にどんな言葉が多いかは重要ですが、あふれる言葉に反応しても必ずしも正しい政策につながりません。根拠が不明なメッセージでも、発信者の影響力や表現の激しさで広まることもある」と指摘した上で、こう強調した。「政策に反映させるなら、どの言葉がどういう経緯でSNSに広まったかを調べるところまでAIを使うべきです」

KIBITでは、あるメーカーの製品に関するSNSでの発信やコメントを読み込み、購買者にどう影響したかを分析したことがある。そうした手法は、SNSを通じた政治家と有権者の意思疎通の精度を上げることに応用できるだろう。

弱い立場の人の「声なき声」は、リアルな世界では政治家の耳に入りにくい。SNSでつぶやかれればAIが拾える。匿名だと直接の対応は難しいが、それでも守本さんは、政治家はAIですくわれた声に敏感であり、解決へのAI活用に向向きであるべきだと考える。

「例えば、精神を病む人の自傷行為や家庭での児童虐待の相談をめぐり、政治・行政の現場は対応しきれないことがある。過去の例を学んだAIを生かせば、この件は深刻かもしれないという助言が得られます」

（編集委員・藤田直史）

政治家は自身を磨くために

「生成AIは日々の生活や仕事に必要な答えを示すことに優れるが、うちは医療や法律などの分野で専門家の判断を助けたい」。そんな守本さんの言葉に、生命や人権といった社会の根幹を「人間とAIの連携」で

支えることへの矜持を感じた。政治家には、次々と迫る難題への専門家としての判断と、国民の代表としての説明能力の両方が必要だ。AIに頼り切りにならず、自身を磨くために使いこなしてほしい。